

そらねん



発行人会長 後藤賢次
編集委員長 土屋博明
編 集 機関紙編集委員会

おめでとう「北青壮年会」発足 30年



筆を休め

ひらひらひらり
舞い散る桜の下で

《書道部 観桜会 21.4.19》

北堀公園

室町時代、倉津安房守が築いた蔵増城の堀跡である。

かつては、高木川の清流が流れ込み、毎日の生活用水にも使われていた。また、大きなフナやナマス、雷魚や食用蛙（牛蛙）などが棲み、子どもたちにとっても自然の格好の遊び場でもあった。

昭和四十年前後、水書常習地の蔵増地区を守るため倉津川が改修された。河川改修は地区民の懸案の事業であった。

その後、流れ込む高木川の水量も少なくなり水質も悪化し、昭和四十七年、矢野目の下水道管理センター建設現場からの土で埋め立てられた。四十八年頃に、地区民有志の寄贈により、桜ソメイヨシノが植えられ、四十年近く経ったいま、満天に広がる淡いピンクの花が地区民の目を癒してくれている。（佐藤善彦）

そらねん



発行人会長 後藤 賢次
編集委員長 土屋 博明
編 集 機関紙編集委員会

おめでとう「北青壮年会」発足 30年



筆を休め

ひらひらひらり
舞い散る桜の下で

《書道部 観桜会 21.4.19》

北堀公園

室町時代、倉津安房守が築いた蔵増城の堀跡である。

かつては、高木川の清流が流れ込み、毎日の生活用水にも使われていた。また、大きなフナやナマス、雷魚や食用蛙（牛蛙）などが棲み、子どもたちにとっても自然の格好の遊び場でもあった。

昭和四十年前後、水書常習地の蔵増地区を守るため倉津川が改修された。河川改修は地区民の懸案の事業であった。

その後、流れ込む高木川の水量も少なくなり水質も悪化し、昭和四十七年、矢野目の下水道管理センター建設現場からの土で埋め立てられた。四十八年頃に、地区民有志の寄贈により、桜ソメイヨシノが植えられ、四十年近く経ったいま、満天に広がる淡いピンクの花が地区民の目を癒してくれている。（佐藤善彦）

先輩たちの功績をつなぎ 創立三十周年

北青壮年会
20年度総会

は」との意見には、「年間7万5千円の積立ては予算上厳しくなっ

役員会で話し合っていました。との答弁がありました。

ずっと付き合っていく 仲間づくりを

毎年、新人会員の勧誘を行っています。昨年に続き入会がありませんでした。

青壮年会は、ボランティアやレクリエーション活動などを通して住みやすい地域づくり、会員同士の親睦を深め、

ざっと付き合っていく仲間づくり、そういう趣旨の基に活動をしています。これからの時代の豊かさとは、余暇を上手に見つけ、人とひととのつながり、地域とのつながりを以って、いかに心豊かに生活していくかということだと思います。青壮年時代の皆さん、会の趣旨に賛同し、是非仲間になり、(秋保栄記)



昭和54年5月8日「蔵増北壮年会誕生」から丸30年。
△「郷土愛」の心を次世代に。後藤(賢)執行部二年目。



人は成す力。まちづくりに青壮年世代の力が欠かせない。
△市連合青壮年会「舞鶴山一斉清掃」 H21.4.12

平成二十年度総会が二月十二日(日)北公民館で開催され、後藤賢次会長の挨拶のあと、執行部から二十年度事業・会計報告、二十一年度事業計画、予算案などが報告・提案され、満場一致で可決されました。

主な質疑・応答

議案審議の中で、「三十周

年記念事業の主な内容は決まったのか」との質問があり、執行部からは、「この総会に提案している実行委員会を組織して検討していきたい。機関紙「そうねん」の合冊版の発行なども検討したい」との答弁がありました。

また、「記念事業積立金はい

よろしくお祈りします

《Profile 新副会長 森山美典さん》

最近、身体に磨きをかけ一段と精悍さを増した森山美典さん。お腹の出っ張りが気になり2~3年前から運動するようになったと言う。青壮年会では本年度から副会長に就任。その高い意志の強さに頼もしさを直感する。



森山さんにとって「青壮年会」とは、と聞くと「親交と懇親の場」と考えている。自らの入会のきっかけは、30歳で消防団に入団していたとき、北区新春将棋大会に一般で参加して優勝。そして入部。要は将棋部への入部が先で、それから青壮年会に入会した。現在の青壮年会は7つの部・会が活動しており、青壮年会の活動を支えていると感じていると言う。

趣味は、興味が湧いたものは広く浅く短くをモットーにウォーキング、ジョギング、トレッキング、ゴルフ、将棋、麻雀、写真、釣り…。なんと多彩なこと。蓄積しているそのノウハウとリーダーシップを青壮年会にフィードバックを。ご期待申し上げます。(インタビュー・秋保栄)

副会長	後藤賢次	会長	土屋仁	副会長	森山美典	理事	土屋博明	理事	佐藤春彦	理事	菊地義盛	理事	今田仁志	理事	佐藤俊彦	理事	佐藤利光	理事	山崎忠明	理事	佐藤正男	理事	土屋光春	理事	東海林由人	監事
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)	(北二)

新役員紹介

ふるさと情報満載 蔵増ポータルサイト
<http://www.onekumi.jp/kurazo/html/>

好プレー・珍プレー続出 爆笑デイスコン

地区若壮年会レクリエーション大会

それぞれ対戦、両リーグの1位同士が優勝決定戦に、2位同士が3位決定戦へ進む。
「デイスコンって何」と言う方もいると思いますが、簡単に紹介したいと思います。

- ソフト部長 鈴木光芳(北一)
- 将棋部長 土屋政美(北二)
- 麻雀部長 熊澤常也(北三)
- 書道部長 佐藤俊彦(北二)
- 写真部長 大木富雄(北二)
- 野山会三ツ会長 佐藤春彦(北一)
- 走遊会長 土屋博明(北三)
- 編集委員長 土屋博明(北三)
- 編集常任委員 森山美典(北二)
- 秋保 栄(北二)
- 山崎昭夫(北二)
- 上部機関(市連合若壮年会) 奥山正男(北二)
- 副会長

二月十五日、第16回目を迎えた今年度も、種目は昨年度と同様「デイスコン」で開催された。3名1組の10チームが集まり、A・Bリーグに分かれそれぞれ対戦、両リーグの1位同士が優勝決定戦に、2位同士が3位決定戦へ進む。



△Aチャー! 某〇美さんの一投は「敵に塩」大歓声。

冬のスポーツ「カーリング」を頭に思い描けばよいと思えます。競技用具は、直径12cmのデイスク、3人に1セット12枚(表と裏が赤・青、直径6cmのポイント1枚(黄色の円盤)、計測用メジャー。競技方法は、ジャンケンで勝ったチームがポイントを投げ、続いてデイスクの赤い方を表にしてポイントの近くに投げる。次に相手チームがデイスクの青い方を表にして赤よりポイントに近いところに投げる。ポイントに近い方のデイスクのチームが勝利するスポーツである。

団体戦は1チーム3人で競い、相手チームのデイスクよりポイントに近いデイスクの枚数を数え、その数だけ得点となり、先に7点取ったチームが勝ちとなります。競技中、投げたデイスクが自分のチームのデイスクに当たりポイントから離れてしまったり、両チームのデイスクの間をすり抜け、見事にポイントに密着するなど好プレーが続出し、歓声や笑いやらあり、また、デイスクが裏返ってしまった、相手チームのデイスクになったり、最初から間違って相手チームの色で投げるなどの造反者がいたり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

北チームは、4チーム(12名)参加して奥山正男氏率いる北一組が延長戦に継ぐ延長戦の末、第3位でした。会員の皆さん一度は体験してみてください。楽しいですよ。
(土屋博明記)

自分の目標めざして初走破
走遊会 初陣 「東根さくらんぼマラソン大会」出場

走遊会は二十年十一月十六日に愛好会として発足し、二十年度総会で正式に認められました。会員5名、サポーター2名、部長は土屋博明さんです。



△初陣「走遊会」参上。年々若返るこの面々。大丈夫?

最初に六月七日の「東根さくらんぼマラソン大会」で完走することを目標にトレーニングを開始。練習場所は市スポーツセンターのグラウンドや体育館で、十二月から三月までは月に1回、大会が近づいた四月、五月は月2回練習とし、各人の体力に合わせた自主トレを行ってきました。大会当日は天候にも恵まれ、蔵増を7時出発。神町駐屯地で競技の受付を済ませ準備運動などを行った後、各自、種目ごと(5km・10km・ハーフ)にスタートし、全員完走しました。怪我も無く気持ち良い

汗と充実感を味わうことが出来ました。
この大会には過去最高の八千七百三十一名が参加。北は北海道、南は九州・沖縄からも参加がありました。
大会終了後、北公民館で反省会を行い今後の活動について話し合いました。次の目標は九月二十日の白鷹若鮎マラソン大会です。(山崎進記)

無念 三連覇の夢ならず 激闘 一進一退の攻防で涙

市連合将棋大会

去る二月二十一日、天童市連合青壮年会第34回将棋大会が天童南部公民館を会場にして開催された。この大会は連合青壮年会の主要事業で歴史と伝統があり、わが蔵増北青壮年会は過去五度の優勝、尚且つ只今二連覇中。

当然のことながら三連覇をめざす当クラブは、最強のメンバーをエントリー。優勝候補筆頭の我が蔵増北チーム。メンバーは、エース熊澤常也さん、近年無敗自称名人後藤賢次さん、今年の北区新春大



△ホーカーエース土屋正賢さんに、相手もタジタジ。

会優勝絶好調、森山美典さん、新進鋭士屋正賢さん、おまけで私(土屋政美)。

当日は小春日和を思わせるのんびりとした天候、しかし、会場内は和やかながらピーンと糸が張りつめた緊迫感に満ち溢れている。

対戦方式は一チーム3名の団体戦トーナメント。今年から大会規定でOB参加が認められ、つわ者・くせ者揃い、初

戦は過去最多優勝を誇り、北チームと一歩も譲らない戦いを演じてきた強豪北久野本青壮年会△チーム、序盤調子がはずハラハラしたが2勝1敗で突破。(後藤名人の調子が気になる)2回戦は高木チーム、この対戦も気をもませた



△百戦錬磨の猛者を迎え打ち、一進一退の攻防。

が2勝1敗で撃破。

決勝戦の相手は、干布と北久野本Bを退け勝ち上がった鶴親会(田鶴町)。一進一退、決勝戦らしい素晴らしい戦いである。ようやく結果が出始め、森山快勝、後藤惜敗、1勝1敗、残る対局はエース熊澤。勝てば三連覇。周囲がかたずを飲む中、先行するも劣勢の展開の模様。残念ながら押し切られ投了。三連覇の夢ならず。終了後、北公民館で総会へ。来年はと雪辱を誓い合いました。(土屋政美記)

三度目の 名手 鈴木清雄さん痛恨の一手 森山美典さん4年振り優勝

◆◆◆ 北区新春将棋大会 ◆◆◆

毎年恒例の北区新春将棋大会が、春近しと思われる穏やかな陽気の二月十一日、北公民館を会場に開催され

た。参加者は、昨年より、各自棋力アップに取り組んできた初心者から有段者までの13名。まずは予選リーグ。5

名ずつ2つのブロックに分かれての総当り戦。どの対局も熱闘続き、中々勝敗がつかない、時計の針はお昼を回ったにも関わらずまだ決着がつかない。漸く予選リーグの結果が出始め、決勝リーグ進出は、将棋クラブ常連組3名と古豪山崎秀太郎さん、渡辺秀治さんの5名が進出する。

残念ながら敗れた方は敢闘リーグでの対戦となる。各リーグとも白熱した対局が展開される。その結果、優勝決定戦

は、ここ数年決定戦常連の鈴木清雄さん、久方ぶりの優勝を目指す森山美典さんとの対戦となった。両者とも高い勝率を誇り、ガツフリ四つ相撲が予想された。が、まだ序盤にもかかわらず鈴木さんに痛恨の悪手。飛車が死んでい

る...!無念にもここで投了。難なく3度目の優勝を手に入れた美典さん、敢闘リーグ1位の一男さんと親子でダブル優勝。親子共々お強い!!!

大会後、フル回転した頭脳に栄養補給をと十分すぎる反省会を行いました。是非、来年は皆さんも御参加ください。(土屋政美記)



△互いに手の内知り尽くした者同士、次の一手は...



△あいにくの雨の中、最大の収穫は採りたて竹の子と、心地よい疲れ。

新鮮 山形神室 直送 竹の子 まるかじり

◆◆ 野山会 春のトレッキング ◆◆

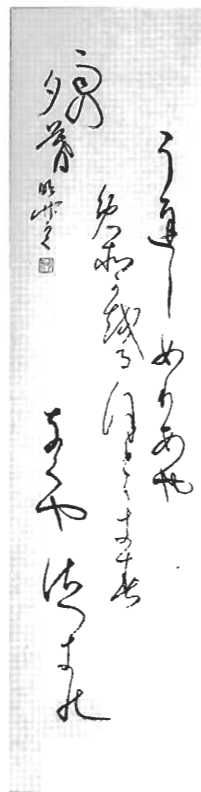
ても雨模様。さっそく雨具をつけて

五月三十
一日(日)、
堀端公園を
出発する時
に雨が降り
出したが、
「そうね
ん」の記事
の取材もあ
ることだし、
5名で出か
けることに
した。

登り始める。眺望はきかないが、雨は小降りである。
ハマグリ山を越えたあたりで土屋H氏が何か前かがみになっていたりと思つたら、笹竹を採り始めていた。そして次第に、とんがり山を過ぎたあたりの登山道脇にひよこひよここと面白いように見つかるので、本気で採つて懇親会の酒の肴にしようということになった。
山頂(1344m)には約2時間
で到着。赤紫色の山ツツジの下で昼食をとる。ストープで味噌汁をつくり、途中で採つた笹竹を入れて口に含むと、これがまた格別、新鮮な山菜まるかじり。里に帰つて懇親会でも竹の子汁をつくらうということになり、全員で笹竹を採りながら下山する。十分まかなえるだけの量を短時間で収穫した。下りも依然として雨模様だが、山形市方向に明るさが差し始めてきた。天候が回復するようである。麓に降り、雨にうたれた身体を山形市臥龍温泉で温める。夕方6時から北公民館で懇親会を行い、竹の子に舌鼓を打つ。当然、自分達で採つて調理した竹の子汁は好評であったことは言うまでもない。(佐藤春彦記)

わたしの作品

《奥山明竹(正男)さん揮毫》



うちしめり あやめをかきる 郭公鳴くや 五月の雨の夕暮れ 藤原良経

書道を習い始めて二十数年、途中で練習に行けなくなった時もありました。「継続は力なり」の言葉に、これでは自分に負けてしまうと悪い公民館に月二回通うようになり、書道部の人と会うのが楽しみになりました。また、年三、四回の飲み会も楽しく

参加させてもらっています。年一回の文化祭への出展も頑張つて書いて満足のような作品が中々できませんが、何とか間に合わせている次第です。今は漢字は三段、仮名は四段です。もう何年も変わらず先生からは、もつと筆を持つ時間を増やさない、と言われますが、別の物(コップ)を手に持つてしまいます。のし袋に自分の名前を筆で書いても満足出来る事はありません。書は人の心を写すそうです。がんばりましょう!

斜面一面残雪 姥ヶ岳

五月六日(水) 連休最終日、佐藤(俊・春)彦2人で姥沢駐車場から山に入る。広い斜面一枚が月山春・夏スキー場に化している。スキー客の邪魔にならないように縁を登る。数mの積雪があり、雪質はざらめ。登りやすいが、雪面のクラック要注意。山頂に近づくにつれ霧と風に見舞われ早々に下山した。(佐藤春彦記)

☆第40回 詰め将棋

将棋部があなたに挑戦 持駒 飛角桂

6	5	4	3	2	1	
		銀			王	一
				歩		二
		歩				三
						四
						五
						六

ヒント 持駒に桂があるので、まずは…。五分で三級。九手詰め。

編集委員

委員長：土屋博明・常任委員：森山美典、秋保栄、山崎昭夫・区選出委員：1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区(兼)土屋博明
部選出：リト部 鈴木光芳、将棋部(兼)土屋政美、麻雀部 熊澤常也、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦
走遊会 山崎進

近所のニュース 《おらのめんごっ子》

五十嵐利夫さん



初孫 梨恋ちゃん (4ヶ月)

北公民館の外壁に 「公民館使用黒板」設置

《事業・会議予定などのお知らせ用》

空いている日かゆすらいほど、北公民館お地域の人に利用されています。地域活動に活気がある、その表れです。

そこで、他団体と使用日時、部屋などの予定が重なったり、支障が出ないようにするために公民館の正面に黒板が設置されました。

◆◆◆ 公民館利用の方法 ◆◆◆

- ① 黒板で空いている日に予定時刻、会議内容、団体(利用者)名を書き込む。
- ② 北公民館長、鈴木慶一郎さん(Tel653-5109)に借用の申し込みをする。
- ③ 鍵は公民館長が各区長から借り、使用后、清掃、ごみ持ち帰り、消灯、戸締りなど安全上の確認をして鍵を返却する。

マナーを守ってよろしくお願いします

お知りな この人

北2区

佐藤 俊彦 さん



俊彦さんは、昭和三十一年三月生まれ、奥様・両親・長男・長女の六人家族です。高校卒業後、(株)ウノハウスに入社。当時、住宅建築部材フレカット工法(木造接合部材を工場加工、現地で組み上げ)の生産工場が天童に新設され、スタッフの一員に。

俊彦さんは、いる設計・製図用のパソコンソフト操作)担当係長として勤務しており、営業所への資材調達や、現場でのトラブルに対する処理などが主な仕事だそう。お客様の喜びの顔が見えるハウスメーカーの仕事に就いたのも、父親が建築関係の仕事をしていたことが影響しているようです。木材を機械加工していた頃、従業員が仕事の慣れから基礎

その後二級建築士の免許を取得し、木材の墨付けの仕事に移行。現在も天童工場で建築構造CAD(建築・機械・電気など様々な分野で使われて

動作や点検確認などを怠ったことで、機械に巻き込まれ大怪我した現場に直面したことがあり、何事も三年ぐらいを過ぎるとマンネリになりがちで、常に原点を思い出すことが大事と語ってくれました。青壮年会では、みなさんよくご存じのとおり、書道部の部長を務めながら他に写真部・野山を歩こう会・走遊会に所属。また、二区の理事として青壮年会をしつかりと支えております。

若い時、職場でぎっくり腰になりそれから毎年季節の変わり目に痛んでくるそうです。趣味は部活動そのものですが、丈夫な腰があつてのもの、くれぐれも無理のないように。(聞き手 土屋博明)

北区の人事

- 連合会長 蔵増 幸義
- 北一区長 鎌倉日出男
- 北二区長 鈴木 傳吉
- 北三区長 渡辺勘二郎
- 連合会計 秋保 松弘
- 青壮年会長 後藤 賢次
- 消防団部長 土屋 孝行
- 老人クラブ会長 土屋 幸一
- 婦人会長(一) 鎌倉えい子
- (二) 秋保真由美
- (三) 土屋 富美
- 若妻会長 秋保智子
- 子ども育成会長 渡辺 勉
- 交通安全協会 高橋 敏広
- KSC (一) 山崎 潤
- (二) 土屋 正賢
- (三) 森山 一江
- (四) 本間 和彦
- 北公民館長(一) 鈴木慶一郎
- (二) 森山 信之
- (三) 主事 (一) 森山 信之

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆第40回詰め将棋の回答

- ▲2三桂 △同 歩
- ▲3三角 △2一玉
- ▲1二歩成 △3二玉
- ▲3一飛 △同 玉
- ▲2二と まで九手詰め

あとかき

▽「目に青葉 山ほととぎす 初鯉」
山々の緑が濃くなり、いよいよ新緑の季節になりました。世間では新型インフルエンザの流行や年金

問題、はたまた北朝鮮の核実験やミサイル発射など、暗いニュースが尽きません。だんだん先ゆき不安になってくる今日このごろであるが気持ちを切り替え、日々は好日、今日を喜び明日を楽しむ気持ちをもち、時あるごとに青壮年会の仲間と酒を酌み交わし、色々なことを語り合い、過さしていく日々がこれからも続くことを願いたい。(佐藤俊彦)

▽最近、家庭菜園にはまっている。と、言っても種を蒔いて芽が出て喜んでいるレベルではあるが、今まで二十種類を超える野菜を作ったが、どれもおいしい。姿、形はどうあれ理屈抜きでうまい。いつかは大豆から豆腐、芋からコンニャクを作り、鍋物なんかをやったら最高かなと思っている。皆さん一汗かいて、自分で食べる納得の野菜を作ってみませんか。(熊澤常也)

表紙題字 書道部長 佐藤翠峰(俊彦)書

これからの行事

平成21年8月9日(日) 堀端公園草刈り・盆踊り大会
10月24~25日(土・日) くらそう文化祭

9月6日(日) 地区レクリエーション大会

先輩たちの功績をつなぎ 創立三十周年

北青壮年会
20年度総会

は」との意見には、「年間7万5千円の積立では予算上厳しくなってきた。役員会で話し合ってみたい」との答弁がありました。

ずっと付き合っていく 仲間づくりを

毎年、新人会員の勧誘を行っています。昨年に続き入会がありませんでした。青壮年会は、ボランティアやレクリエーション活動などを通して住みやすい地域づくり、会員同士の親睦を深め、

ずっと付き合っていく仲間づくり、そういう趣旨の基に活動をしています。これからの時代の豊かさとは、余暇を上手に見つけ、人とひととのつながり、地域とのつながりを以って、いかに心豊かに生活していくかということだと思います。青壮年時代の皆さん、会の趣旨に賛同し、是非仲間になり、(秋保栄記)



昭和54年5月8日「蔵増北壮年会誕生」から丸30年。
△「郷土愛」の心を次世代に。後藤(賢)執行部二年目。

平成二十年度総会が二月十二日(日)北公民館で開催され、後藤賢次会長の挨拶のあと、執行部から二十年度事業・会計報告、二十一年度事業計画、予算案などが報告・提案され、満場一致で可決されました。

主な質疑・応答

議案審議の中で、「三十周

年記念事業の主な内容は決まったのか」との質問があり、執行部からは、「この総会に提案している実行委員会を組織して検討していきたい。機関紙「そうねん」の合冊版の発行なども検討したい」との答弁がありました。

また、「記念事業積立金はいくらで、部活の充実にも配分していくのか、部活の充実にも配分していく



人は成す力。まちづくりに青壮年世代の力が欠かせない。
△市連合青壮年会「舞鶴山一斉清掃」 H21.4.12

よろしくお祈りします

《Profile 新副会長 森山美典さん》

最近、身体に磨きをかけ一段と精悍さを増した森山美典さん。お腹の出っ張りが気になり2~3年前から運動するようになったと言う。青壮年会では本年度から副会長に就任。その高い意志の強さに頼もしさを直感する。



森山さんにとって「青壮年会」とは、と聞くと「親交と懇親の場」と考えている。自らの入会のきっかけは、30歳で消防団に入団していたとき、北区新春将棋大会に一般で参加して優勝。そして入部。要は将棋部への入部が先で、それから青壮年会に入会した。現在の青壮年会は7つの部・会が活動しており、青壮年会の活動を支えていると感じていると言う。

趣味は、興味が湧いたものは広く浅く短くをモットーにウォーキング、ジョギング、トレッキング、ゴルフ、将棋、麻雀、写真、釣り…。なんと多彩なこと。蓄積しているそのノウハウとリーダーシップを青壮年会にフィードバックを。ご期待申し上げます。(インタビュー・秋保栄)

監事	理事	副会長	会長
東海林由人	佐藤正男	山崎忠明	土屋賢次
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
土屋光春	佐藤利光	佐藤俊彦	森山美典
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
佐藤正男	山崎忠明	佐藤俊彦	土屋賢次
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
山崎忠明	佐藤利光	佐藤俊彦	土屋賢次
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
佐藤利光	佐藤俊彦	今田仁志	菊地義盛
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
佐藤俊彦	今田仁志	菊地義盛	佐藤春彦
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
今田仁志	菊地義盛	佐藤春彦	土屋博明
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
菊地義盛	佐藤春彦	土屋博明	森山美典
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)
佐藤春彦	土屋博明	森山美典	後藤賢次
(北二)	(北二)	(北二)	(北二)

新役員紹介

ふるさと情報満載 蔵増ポータルサイト
<http://www.onekumi.jp/kurazo/html/>

好プレー・珍プレー続出 爆笑デイスコン

地区若壮年会レクリエーション大会

それぞれ対戦、両リーグの1位同士が優勝決定戦に、2位同士が3位決定戦へ進む。
「デイスコンって何」と言う方もいると思いますが、簡単に紹介したいと思います。

- ソフト部長 鈴木光芳 (北一)
- 将棋部長 土屋政美 (北二)
- 麻雀部長 熊澤常也 (北三)
- 書道部長 佐藤俊彦 (北二)
- 写真部長 大木富雄 (北二)
- 野山会三才会長 佐藤春彦 (北一)
- 走遊会長 土屋博明 (北三)
- 編集委員長 土屋博明 (北三)
- 編集常任委員 森山美典 (北二)
- 秋保 栄 (北二)
- 山崎昭夫 (北二)
- 上部機関 (市連合若壮年会) 副会長 奥山正男 (北二)

二月十五日、第16回目を迎えた今年度も、種目は昨年度と同様「デイスコン」で開催された。3名1組の10チームが集まり、A・Bリーグに分かれそれぞれ対戦、両リーグの1位同士が優勝決定戦に、2位同士が3位決定戦へ進む。



△Aチャー! 某〇美さんの一投は「敵に塩」大歓声。

冬のスポーツ「カーリング」を頭に思い描けばよいと思えます。競技用具は、直径12cmのデイスク、3人に1セット12枚(表と裏が赤・青、直径6cmのポイント1枚(黄色の円盤)、計測用メジャー。競技方法は、ジャンケンで勝ったチームがポイントを投げ、続いてデイスクの赤い方を表にしてポイントの近くに投げる。次に相手チームがデイスクの青い方を表にして赤よりポイントに近いところに投げる。ポイントに近い方のデイスクのチームが勝利するスポーツである。

団体戦は1チーム3人で競い、相手チームのデイスクよりポイントに近いデイスクの枚数を数え、その数だけ得点となり、先に7点取ったチームが勝ちとなります。競技中、投げたデイスクが自分のチームのデイスクに当たりポイントから離れてしまったり、両チームのデイスクの間をすり抜け、見事にポイントに密着するなど好プレーが続出し、歓声や笑いやらあり、また、デイスクが裏返ってしまい、相手チームのデイスクになったり、最初から間違って相手チームの色で投げるなどの造反者がいたり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

北チームは、4チーム(12名)参加して奥山正男氏率いる北一組が延長戦に継ぐ延長戦の末、第3位でした。会員の皆さん一度は体験してみてください。楽しいですよ。
(土屋博明記)

自分の目標めざして初走破

走遊会 初陣 「東根さくらんぼマラソン大会」出場

走遊会は二十年十一月十六日に愛好会として発足し、二十一年度総会で正式に認められました。会員5名、サポーター2名、部長は土屋博明さんです。

最初に六月七日の「東根さくらんぼマラソン大会」で完走することを目標にトレーニングを開始。練習場所は市スポーツセンターのグラウンドや体育館で、十二月から三月までは月に1回、大会が近づいた四月、五月は月2回練習とし、各人の体力に合わせた自主トレを行ってきました。大会当日は天候にも恵まれ、蔵増を7時出発。神町駐屯地で競技の受付を済ませ準備運動などを行った後、各自、種目ごと(5km・10km・ハーフ)にスタートし、全員完走しました。怪我も無く気持ち良い



△初陣「走遊会」参上。年々若返るこの面々。大丈夫?

汗と充実感を味わうことが出来ました。

この大会には過去最高の八千七百三十一名が参加。北は北海道、南は九州・沖縄からも参加がありました。

大会終了後、北公民館で反省会を行い今後の活動について話し合いました。次の目標は九月二十日の白鷹若鮎マラソン大会です。(山崎進記)